



日本骨髄バンクの現状（平成 21 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,345	3,110	352,047	449,049
患者登録者数	179	243	2,527	29,002
骨髄移植例数	107	126	-	11,178

■20 歳未満のドナー登録者数

11 月 237 人
合計 11,126 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

11 月新規 101 人
延長 234 人
合計 16,666 人（17 年 9 月～）

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／922 人、献血併行型集団登録会／1,956 人、集団登録会／124 人、

その他／108 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 11 月の移植件数が過去最高に

本年 11 月の移植件数が 126 件で過去最高になりました。内訳は国内ドナー⇒国内患者：125 件、国内ドナー⇒海外患者：1 件です。今年の累計移植件数（1～11 月）は 1,109 件で、年間で 1,200 件を超える見込みであり、過去最高のペースで推移しています。今後とも各関係者のご協力をいただきながら、より多くの移植実現に向けて努力してまいります。

2 ドナー等休暇制度の実施

企業や団体等に勤務する方がドナーとなる場合、検査、入院等のために平日に休暇をとらなければなりません。ドナーの方の負担を軽減するために、当財団では各企業に対して、必要な休暇を特別休暇として認める「ドナー休暇制度」の導入について働きかけを続けています。

一方、コーディネート 과정においては、ドナー本人だけでなく、ご家族も最終同意面談への同席や、施設によっては骨髄採取の際に待機を求める場合があります。このたび、家族がドナー候補者となった東京都のある職員から、職員がドナーの家族として、最終同意面談等に同席するため休暇を取る場合に「ドナー等休暇」として制度化できないか、東京都に要望してほしいとの要請がありました。検討の結果、当財団では「ドナー等休暇制度」として職員の家族がコーディネートを受ける場合の対応を就業規程に決めました。また、公務員への導入について、東京都、人事院、総務省へそれぞれ要望書を提出しました。今後は企業に対しても、従業員がドナーとなった場合に併せて、従業員がドナーの家族としてコーディネートに協力する場合の休暇制度についても提案していく予定です。

<参考>財団法人骨髄移植推進財団就業規則より抜粋

（骨髄液提供休暇）

職員又はその家族が骨髄バンクを介した骨髄提供等を行う場合に、以下の各号のいずれかに該当し、当該職員から休暇の申し出があった場合は、必要な休暇を与える。

- (1) 職員が骨髄バンクドナーに登録するとき
- (2) 職員がドナー候補者または提供ドナーとして選ばれ、面談、検査、又は入院を行うとき
- (3) 職員の家族がドナー候補者として選ばれ、当該職員が最終同意面談に出席するとき
- (4) 職員の家族が提供ドナーとして選ばれ、当該職員が採取施設にて骨髄採取時の待機を行うとき

2 職員の家族とは、原則として職員の配偶者、父母、子又は同居の親族をいう。



- 3 第1項第3号においては、最終同意面談を行うドナー候補者にとって、当該職員が家族の代表として署名する立場にある出席者に該当することを要件とする。同第4号において該当する職員が複数名いる場合は、休暇を付与する職員は1名とする。
- 4 付与するドナー等休暇は、財団の発行する証明書又は予定通知等に記載された日程とし、登録、面談、検査、入院または待機にそれぞれ必要な日数又は時間とする。

3 第6回「PBSC Tに関する委員会」の開催

12月13日に第6回目の「PBSC Tに関する委員会」が開催されました。

第6回本委員会では、継続検討とされていた「末梢血幹細胞（以下、PBSC）の凍結について」を審議し、移植施設が必要と判断した場合は、一定の条件を満たせばPBSCの凍結保存を可とするとなりました。ただし、移植施設が必要と判断する場合の具体例や、一定の条件をさらに明確にして最終的な整理をするとされました。続いて「骨髄提供・PBSC提供の選択決定方法について（ドナーの意思決定）」を審議しました。確認検査ではドナーに骨髄とPBSC提供の両方について説明し、自由意思に基づいて選択していただくことを原則とし、患者側に強い希望がある場合にはコーディネート過程で対応するという意見が出されました。また、「既登録ドナーへの意思確認について」を審議し、既に登録しているドナーには、「骨髄バンクニュース」等でPBSC T導入の情報提供を行い、PBSC提供の意思確認は患者と適合した後の行程で行うとしました。「家族同意の必要性について」の審議では、導入時は骨髄と同様、提供についての家族の同意を必要とすることとされましたが、将来的に移植医療における家族同意のあり方について、別の場で議論する必要性が示唆されました。最後に「普及広報の進め方」について説明があり、次回本委員会において検討するとしました。

審議の詳細については、財団ホームページに随時アップされる議事録をご参照ください。

4 「新型インフルエンザに関する事業継続計画」の策定について

骨髄移植推進財団では、新型インフルエンザの発生に伴い、対策本部を設置してその対策について検討を行ってきました。今般流行している新型インフルエンザの毒性は季節性インフルエンザとほぼ同等ですが、大多数の方が免疫を獲得していないため感染性が高くなっています。財団ではマスクの着用等を財団職員およびコーディネーターに対して適宜周知し感染予防を図っています。

また、このたび集団感染に備え、財団業務への支障をできる限り低減し、ドナーコーディネート業務および患者コーディネート業務の機能を維持するため、中央各部・地区事務局ごとに事業継続計画を策定しました。なお事業継続計画は、今後の流行の推移に応じて、適宜改定していきます。

5 上原投手、越智選手、東野選手が病院訪問

12月8日（火）、メジャーリーグオリオールズの上原投手と読売ジャイアンツの越智投手、東野投手が東海大学病院に入院中の子どもたちを訪ねました。上原投手はジャイアンツ時代を含めて4回目、越智選手は昨年に続いての訪問です。3選手は初めに無菌室を訪問して子どもたちにクリスマスプレゼントを手渡し、続いて院内学級でのクリスマス会に参加しました。サンタクロースやトナカイ姿の選手から子どもたちへプレゼントが手渡され、子どもたちから選手へも手作りのプレゼントが贈られました。ジャイアンツマスコットのジャビット君も参加して、楽しいひと時となりました。

6 ホセ・カレーラス クリスマス・コンサート

12月9日(水)、今年で7回目となるチャリティコンサート「ホセ・カレーラス クリスマス・コンサート」が東京都港区のサントリーホールで中外製薬の協賛により行われました。世界三大テノールとして知られるホセ・カレーラスさんは、ご自身も骨髄移植により白血病を克服して歌手活動に復帰されており、このコンサートの収益金の一部は当財団に寄付されます。また、会場では財団職員が骨髄バンクの普及啓発活動と募金活動を行いました。

7 骨髄バンクニュースの訂正とお詫び

12月2日(水)発行の「骨髄バンクニュース Vol. 35」7ページの住友生命保険相互会社の記事に誤りがございました。訂正して、お詫び申し上げます。

(誤) 骨髄提供をされた場合(血縁者の移植は除く)

↓

(正) 骨髄提供をされた場合(自家移植は除く)※自家移植を除く血縁者の移植にも適用されます。

※なお、当財団ホームページでは修正版を掲載しています。

8 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	12月17日(木) 17:30～ 廣瀬第2ビル地下会議室

ドナーコーディネーター関係者のコーナー

以下は、調整医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 平成 22 年度調整医師再委嘱手続きについて(調整医師の先生方へ)

現在活動いただいている調整医師の皆さまの委嘱期間は、平成22年3月末までとなっています。来年1月中旬頃に、平成22年度の委嘱に関する書類をお送りします。ご多忙のところお手数をおかけしますが、お手続きのうえ、施設長の承諾書をご返送ください。また、移植件数およびコーディネーター件数の増加に伴い、調整医師が不足しています。調整医師として活動いただける医師の方をご紹介いただける場合は、ぜひドナーコーディネーター部までご一報ください。ご協力をお願いいたします。

調整医師申請書等は、当財団のホームページの「医師の方へ」のページからダウンロードできます(<http://www.jmdp.or.jp/medical/work/invitation.html>)。

なお「ドナー適格性確認の業務委託制度」の契約も随時受け付けています。遠慮なくお問い合わせください。

10 確認検査項目（梅毒検査 ガラス板法）の検査方法変更について

確認検査の検査項目のうち、梅毒検査 ガラス板法の検査に使用している検査試薬の販売が中止となったため、12月3日（木）確認検査実施分から検査方法が下記のとおり変更となりました。

<現行の検査方法>

- 梅毒定性：ガラス板法
- 検査方法：沈降反応
- 基準値：陰性
- 検体量：0.3ml（血清）

⇒

<新しい検査方法>

- RPR法
- 凝集反応
- 陰性
- 0.3ml（血清）

⇒

⇒

⇒

11 骨髄採取計画書の記載項目の追加について

このところ非血縁ドナーの骨髄採取で、ドナーの骨髄採取上限量を超えて採取された事例が高頻度で報告されています。特にドナー上限を 100ml 以上超えた事例も増加しています。（調査内容については、同封の「骨髄移植計画の記載項目追加について（通知）」をご参照願います。）この件についてドナー安全委員会において検討され、「骨髄採取計画書」に骨髄採取上限量の記載項目を追加することとなりました（同封資料参照）。12 月下旬以降に骨髄採取が決定したものから、新しい帳票をお送りします。お手元に新しい帳票が届きましたら、順次ご使用ください。また「骨髄採取マニュアル」に「如何なる場合も、ドナーの骨髄採取上限量を超えて採取しないこと。」と記載されております。この点について改めてご確認いただき、ご対応くださいますようお願い申し上げます。

12 バイオアクセス社製『ボーンマロウコレクションシステム』使用後アンケート結果について

バクスター株式会社から財団に対して、バイオアクセス社製『ボーンマロウコレクションシステム』使用後アンケートの結果が報告されました。また、バクスター株式会社では、各施設に対して担当者が同アンケート結果の配布を開始した旨連絡がありましたので、11月20日に財団からも認定施設に対して情報提供を行いました。詳細については、別添資料「バイオアクセス社製『ボーンマロウコレクションシステム』使用後アンケートの結果報告について（事務連絡）」をご参照ください。

13 連絡事項

◆コーディネーションスタッフ募集終了と今後の予定

コーディネーションスタッフ募集につきましては、新しい制度を前向きにとらえていただき、全地区から20名の応募がありました。なお、当初、12月中に選考試験を行う予定でしたが、都合により1月に実施することになりました。また、研修は3月12日（金）、13日（土）に予定しています。皆さまにご協力いただき、関係者間の連携によるコーディネート体制の一層の充実を目指したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

**◆2009年度コーディネーター養成研修会受講生募集」と今後の予定**

「2009年度コーディネーター養成研修会受講者募集」は12月16日で締め切りとなります。関係者の皆さまのご協力もあり、これまでに大変多くのご応募をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後は、来年1月9日（土）10日（日）、大阪での集合研修を皮切りに各地区の指定病院での実地研修、地区集合研修等を1月中旬から3月下旬に行う予定です。研修生の見学・実地研修等の際にはコーディネーター、調整医師および採取責任医師の皆さまにご協力いただくこととなりますがよろしくお願ひします。

◆「骨髄採取前にお願ひしたいこと」一部変更について

「骨髄採取前にお願ひしたいこと」の増刷にあたり、内容を一部変更しました。各地区事務局の在庫がなくなり次第、随時新しいものに切り替わります。ドナーの方への差し替えは必要ありません。増刷版および変更一覧は、今回のニュースレターに同封してお届けします。

**◆第15回コーディネーターブラッシュアップ研修会における市民公開講座への参加について
（コーディネーターの皆さまへ）**

第15回コーディネーターブラッシュアップ研修会2日目の2月20日（土）、16時から18時まで市民公開講座「より良い移植医療・より良い治療 ～移植医療を支える人々、医療システム、社会～」が開催されます。学会、看護部会、患者団体等が参加する有意義なプログラムですので（別紙参照）、ブラッシュアップ研修会のプログラムと位置付け、原則、全員参加とすることになりました。すでにご案内している閉会時間の変更となり、ご迷惑をおかけしますがご了承ください。なお後泊が必要な場合、すでに確保した航空券のキャンセル等については個別にご相談させていただきますので、ドナーコーディネーター部・小島までご連絡ください。

また研修会に欠席（予定）の方は12月24日（木）までに、理由を添えて地区事務局までお申し出ください（出席の方は連絡の必要はありません）。

◆骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会（仮称）開催のご案内（調整医師の先生方へ）

骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会《調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター合同会議およびさい帯血バンク報告・意見交換会》（仮称）を第32回日本造血細胞移植学会総会の会期中に下記日程で開催します。

<開催概要>

- ・日時：2010年2月20日（土） 12：00～13：30
- ・会場：アクトシティ浜松「コンgresホール第3会場」
- ・対象：調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター

※同封の別紙をご参照のうえ、ご出席の方は1月15日（金）までにご連絡をお願いします。

※メール配信ご希望の先生方には、メールでも出欠票をお送りしています。ファックスもしくはメール、いずれかの方法でご返信ください。

※コーディネーターの方はブラッシュアップ研修会のプログラムに含まれます。

◆年末挨拶と年末年始の休業について

本年もドナーコーディネーター業務において、皆さまに多大なご協力をいただき、ありがとうございました。なお、本年の移植例数は1200例を上回る見通しです。皆さまの日頃のご協力に心から感謝申し上げます。来年も職員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2009年12月29日（火）～2010年1月3日（日）は中央事務局・地区事務局の業務を休業させていただきます。2009年も残すところあとわずかとなりました。皆さまどうぞよいお年をお迎えください。